

HSA 60.0

**STIHL**



2 - 23 取扱説明書



## 目次

1	ごあいさつ	2
2	はじめに	2
3	概要	3
4	安全に関する重要事項	4
5	ヘッジトリマーの使用準備	11
6	バッテリーの充電、LED	11
7	バッテリーの取り外しと取り付け	12
8	ヘッジトリマーのオン/オフ切り替え	13
9	ヘッジトリマーとバッテリーのテスト	13
10	ヘッジトリマーの操作	14
11	作業後	14
12	運搬	14
13	保管	15
14	清掃	16
15	整備	16
16	修理	17
17	トラブルシューティング	17
18	技術仕様	18
19	スペアパーツおよびアクセサリ	19
20	廃棄	19
21	EC 適合証明書	20
22	UKCA 適合宣言	20
23	パワーツールの安全上の一般的警告事項	20

## 1 ごあいさつ


お客様各位

STIHL 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。弊社では、お客様のご要望を満たす高品質の製品を開発し、製造しております。弊社の製品は、極端な条件下においても高い信頼性が発揮されるよう設計されております。

STIHL 社は上質なサービスでも定評があります。弊社販売店は、お客様にご満足いただける助言や商品説明だけでなく、広範なサービスサポートも提供しております。

STIHL 社は天然資源を持続可能かつ責任ある方法で利用することに尽力しており、この方針を明示しています。本取扱説明書は、製品の長きに渡る耐用年数において、お客様が STIHL 製品を安全かつ環境に優しい方法で使用するのに役立つよう考えられています。

弊社をご愛顧いただきまして有難うございます。今後とも STIHL 製品をご愛用いただきますようお願い申し上げます。



Dr. Nikolas Stihl

**重要！**初めて使用する前に取扱説明書をお読みください。取扱説明書は、必要なときに参照できるように安全な場所に保管してください。


## 2 はじめに

## 2.1 適用文書


現地の安全規制が適用されます。

- ▶ 本取扱説明書の他に以下の文書をお読みいただき、内容を理解し、保管してください：
  - STIHL AK バッテリーの安全上の注意事項
  - STIHL バッテリーとバッテリー内蔵型製品の安全上の注意事項：www.stihl.com/safety-data-sheets

## 2.2 本文中の警告通知

 **危険**

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらすリスクを意味します。
  - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。


 **警告**

- この通知は、重傷または致命的な傷害をもたらす**おそれがある**リスクを意味します。
  - ▶ 重傷または致命的な傷害は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

**注記**

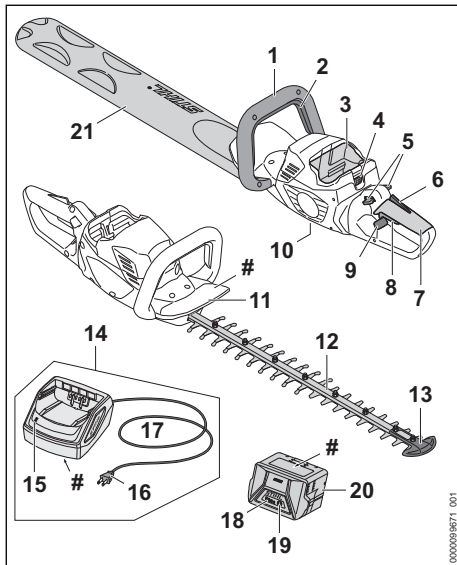
- この通知は、器物損壊等をもたらす**おそれがある**リスクを意味します。
  - ▶ 器物損壊等は、記載された予防措置を取ることによって回避することができます。

## 2.3 本文中の記号

 この記号は、本取扱説明書の章を示します。

## 3 概要

### 3.1 ヘッジトリマー、バッテリーおよび充電器



- 1 **ループハンドル**  
ループハンドルは、ヘッジトリマーの操作と持ち運びを行うためのものです。
- 2 **コントロールバー**  
コントロールバーとトリガーを一緒に使用して、ヘッジトリマーのスイッチをオン・オフにします。
- 3 **バッテリーコンパートメント**  
バッテリーコンパートメントにバッテリーを挿入します。
- 4 **ロックレバー**  
ロックレバーを使用して、バッテリーをバッテリーコンパートメントの中に保持します。
- 5 **ロックレバー**  
ロックレバーを使用して、トリガーのロックを解除します。
- 6 **エルゴレバー**  
エルゴレバーを使用して、トリガーを離れたときにロックレバーがそのままの位置で保持されるようにします。
- 7 **コントロールハンドル**  
コントロールハンドルは、ヘッジトリマーの操作と持ち運びを行うためのものです。

- 8 **トリガー**  
トリガーとコントロールバーを一緒に使用して、ヘッジトリマーのスイッチをオン・オフにします。
  - 9 **ロックスライド**  
ロックスライドは回転可能なコントロールハンドルのロックを解除するものです。
  - 10 **スクリュープラグ**  
スクリュープラグは、STIHL 多目的グリースの開口部を塞ぎます。
  - 11 **ハンドガード**  
ハンドガードは、ループハンドルを握っている手をカッティングブレードとの接触から保護します。
  - 12 **カッティングブレード**  
カッティングブレードは草木を切断します。
  - 13 **チップガード**  
チップガードは、カッティングブレードの先端を物との接触から保護します。
  - 14 **充電器**  
充電器を使用してバッテリーを充電します。
  - 15 **LED**  
LED は充電器の状態を表示します。
  - 16 **電源プラグ**  
電源プラグは接続ケーブルとコンセントを接続します。
  - 17 **接続ケーブル**  
接続ケーブルは充電器と電源プラグを接続します。
  - 18 **バッテリー**  
ヘッジトリマーにはバッテリーから電力が供給されます。
  - 19 **LED**  
LED はバッテリーの充電状態と障害を表示します。
  - 20 **プッシュボタン**  
プッシュボタンを押すと、バッテリーの LED が有効になります。
  - 21 **ブレード鞘**  
ブレード鞘により、カッティングブレードとの接触から保護されます。
- # マシン番号が記載された出カラベル

### 3.2 記号

この記号はヘッジトリマー、バッテリーおよび充電器で見受けられ、その意味は以下の通りです：

 この記号は STIHL 多目的グリースの開口部を示しています。



1つのLEDが赤色で点灯する。バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。



4つのLEDが赤色で点滅する。バッテリー内部に障害があります。



LEDが緑色で点灯し、バッテリーのLEDが緑色で点灯または点滅する。バッテリーの充電中です。



LEDが赤色で点滅する。バッテリーと充電器が電氣的に接触していないか、バッテリーまたは充電器内部に障害があります。



指令 2000/14/EC に準拠した音響パワーレベル保証値。単位 dB(A)。製品の騒音が比較可能になります。



記号の横にある数値は、セルメーカーの仕様に基づいたバッテリーのエネルギー容量を示しています。使用時に利用できるエネルギー容量はそれより小さくなっています。



電気製品は乾燥した密閉空間で使用してください。



製品を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

## 4 安全に関する重要事項

### 4.1 警告マーク

警告マークはヘッジトリマー、バッテリーまたは充電器に貼示されており、その意味は以下の通りです：



安全上の指示とその対策を遵守してください。



取扱説明書を読み、内容を理解し、保管してください。



保護メガネを着用してください。



作動中のカッティングブレードに触れないようにしてください。



作業中断中、運搬中、保管中、メンテナンス：修理中はバッテリーを取り出してください。



ヘッジトリマーおよび充電器を雨や湿気から守ってください。



バッテリーを熱や火から保護してください。



バッテリーを雨や湿気から守り、液体に浸さないようにしてください。

### 4.2 正しい使用方法

ヘッジトリマー STIHL HSA 60.0 は、茂み、低木、やぶや灌木を切断するためのものです。

雨天時にはヘッジトリマーを使用してはなりません。

ヘッジトリマーにはバッテリー STIHL AK から電力が供給されます。

バッテリー STIHL AK は充電器 STIHL AL 101 で充電します。

#### ▲ 警告

- STIHL がヘッジトリマー用に許可していないバッテリーと充電器を使用すると、火災や爆発に至る可能性があります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。

▶ ヘッジトリマーはバッテリー STIHL AK と併用してください。

▶ バッテリー STIHL AK は、充電器 STIHL AL 101、AL 301 または AL 500 で充電してください。

- ヘッジトリマー、バッテリーまたは充電器を正しく使用しないと、人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。

▶ ヘッジトリマー、バッテリーおよび充電器は、この取扱説明書の記載通りに使用してください。

### 4.3 作業者

#### ▲ 警告

- 適切な研修または指導を受けていない使用者は、ヘッジトリマーとバッテリーの使用に伴う危険の認識や評価ができませんと充電器。使用者または他の人員が重傷または致命傷を負うおそれがあります。

▶ 取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解ください。また取扱説明書は必ず保管してください。

▶ ヘッジトリマー、バッテリー、充電器を他の人に渡す場合：必ず取扱説明書を渡してください。

- ▶ 使用者が以下の必要条件を満たしているか確認してください：

- 十分な休息をとっている。

– 使用者は、ヘッジトリマー、バッテリー、充電器を操作するために適切な身体的および精神的状態である必要があります。使用者の身体的、感覚的、または精神的機能が制限されている場合、その使用者は責任者の監督の下で、または責任者による指導どおりにのみ作業することができます。

- ユーザーは、ヘッジトリマー、バッテリー、充電器の使用に伴うリスクを認識して評価することができます。

– 法定年齢に達しているか、国の規則や規制に従い、監督下で職業訓練を受けた。

– 使用者は、初めてヘッジトリマーを使用する前に、STIHL サービス店またはその他の経験豊富な使用者から指導を受けた。

- アルコールまたは薬物の影響を受けていない。

- ▶ ご不明な点があれば、STIHL サービス店にお問い合わせください。

#### 4.4 衣服と装備

##### ▲ 警告

- 長髪は、作業中にヘッジトリマーに引き込まれるおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 長髪は結び、肩よりも高い位置でまとめてください。
- 作業中は、物体が高速で飛散することがあります。それにより負傷するおそれがあります。



- ▶ 確実にフィットする保護メガネを着用してください。欧州基準 EN 166 または日本の基準に従って試験さ

れ、ラベルが付けられている適切な保護メガネが販売されています。

- ▶ 体に合った長袖の上着と長ズボンを着用してください。
- 作業中は、粉塵が巻き上げられることがあります。巻き上げられた粉塵は気道を傷付け、アレルギー反応を引き起こすおそれがあります。
  - ▶ 粉塵が発生するときは：防塵マスクを着用してください。
- 不適切な衣服は木々、茂み、またはヘッジトリマーにからまるおそれがあります。適切な衣服を着用しないと、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 体にぴったりフィットする衣服を着用してください。
  - ▶ スカーフや装身具は外してください。
- 作業中、作動するカッティングブレードに接触することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 頑丈な靴を着用してください。
  - ▶ 丈夫な素材の長ズボンを着用してください。
- 清掃中または整備中にカッティングブレードに接触するおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 耐切削手袋を着用してください。
- 不適切な履物を履くと、滑るおそれがあります。それにより負傷するおそれがあります。
  - ▶ 靴底が滑らず、頑強な作り、足が露出しない靴を着用してください。

#### 4.5 作業エリアおよび周辺環境

##### 4.5.1 ヘッジトリマー

##### ▲ 警告

- 見物人、子ども、動物は、ヘッジトリマーまたは飛散物の危険を認識/認知できません。無知な見物人、子ども、動物は重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ 作業エリアに見物人、子ども、動物を近づけないでください。
  - ▶ ヘッジトリマーを無人のまま放置しないでください。
  - ▶ 子どもがヘッジトリマーで遊ばないように注意してください。
- ヘッジトリマーは、防水構造ではありません。雨の中または湿っている場所で使用すると、感電することがあります。それにより負傷事故が生じ、ヘッジトリマーが損傷するおそれがあります。



- ▶ 雨の中または湿っている場所では使用しないでください。

- ヘッジトリマーの電気部品から火花が発生することがあります。引火または爆発が起きや

すい環境下では、火花によって火災や爆発が生じるおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負ったり、器物が損壊したりすることがあります。

- ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、作業を行わないでください。

#### 4.5.2 バッテリー

### ▲ 警告

- 見物人、子供、動物はバッテリーの危険の認識や評価ができません。見物人、子供、動物は、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 作業エリアに子供、見物人、動物を近づけないでください。
  - ▶ バッテリーを無人のまま放置しないでください。
  - ▶ 子供がバッテリーで遊ばないように注意してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーが発火したり、爆発したり、修理不能な損傷が生じたりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。



- ▶ バッテリーを熱や火気から保護してください。
- ▶ バッテリーを火の中に投げ入れないでください。

- ▶ 規定の温度範囲を超える環境下でバッテリーの充電、使用、保管を行わないでください。☑ 18.6。



- ▶ バッテリーは雨や湿気から保護し、液体に浸さないでください。

- ▶ バッテリーを小さな金属製の物体に近づけないでください。
- ▶ バッテリーを高圧にさらさないでください。
- ▶ バッテリーをマイクロ波にさらさないでください。
- ▶ 化学物質と塩類からバッテリーを保護してください。

#### 4.5.3 充電器

### ▲ 警告

- 見物人や子供は、充電器や電流の危険性を認識しておらず、評価することもできません。見物人、子供、動物が重傷または致命傷を負う可能性があります。
  - ▶ 作業エリアに子供、見物人、動物を近づけないでください。

### ▶ 子供が充電器で遊ばないように注意してください。

- 充電器は、防水構造ではありません。雨の中または湿った場所で作業を行うと、感電することがあります。使用者が負傷し、充電器が損傷するおそれがあります。



- ▶ 雨天時や湿気が多い場所で操作しないでください。

- 充電器は、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、充電器は発火するか、爆発することがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 充電器は乾燥した屋内で使用してください。
  - ▶ 引火または爆発が起きやすい環境下では、充電器を使用しないでください。
  - ▶ 引火しやすい表面では、充電器を使用しないでください。
  - ▶ 充電器は、規定の温度範囲を超える環境下で使用したり、保管したりしないでください。☑ 18.6。
- 接続ケーブルにはつまずく危険があります。負傷事故が生じたり、充電器が損傷したりするおそれがあります。
  - ▶ 電源ケーブルは、床の上に平らになるように置いてください。

## 4.6 安全に関する条件

### 4.6.1 ヘッジトリマー

ヘッジトリマーは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- ヘッジトリマーが損傷していない。
- ヘッジトリマーが清潔で乾いた状態になっている。
- 操作部が正常に作動し、改造されていない。
- カッティングブレードが適切に取り付けられている。
- 本ヘッジトリマー用に設計された STIHL 純正アクセサリだけが取り付けられている。
- アクセサリが適切に取り付けられている。

### ▲ 警告

- 安全な状態にない場合、部品が正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 損傷したヘッジトリマーは絶対に使用しないでください。
  - ▶ ヘッジトリマーが汚れたり濡れたりした場合：清掃し、乾かしてください。



- ▶ ヘッジトリマーを改造しないでください。
- ▶ 操作部が作動しない場合、ヘッジトリマーを操作しないでください。
- ▶ 必ず本ヘッジトリマー用に設計された STIHL 純正アクセサリーだけを取り付けてください。
- ▶ アクセサリーは、本取扱説明書またはアクセサリーに付属する取扱説明書に従って装着してください。
- ▶ ヘッジトリマーの開口部には物を差し込まないでください。
- ▶ 摩耗するか、損傷したラベルは交換してください。
- ▶ ご不明な点は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

#### 4.6.2 カuttingブレード

カuttingブレードは、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- カuttingブレードが損傷していない。
- カuttingブレードが変形していない。
- カuttingブレードが自由に動く。
- カuttingブレードが適切に目立てされている。
- カuttingブレードにバリがない。

### ▲ 警告

- 安全な状態にないと、カuttingブレードの部品が外れ、高速で飛散するおそれがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ カuttingブレードは必ず損傷のない状態で使用してください。
  - ▶ カuttingブレードが適切に目立てされ、バリが取り除かれているか確認してください。
  - ▶ ご不明な点があれば：最寄りの STIHL サービス店にご連絡ください。


#### 4.6.3 バッテリー

バッテリーは、以下の条件が満たされている場合に安全な状態となります：

- バッテリーが損傷していない。
- バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
- バッテリーが正常に機能し、改造されていない。

### ▲ 警告

- 安全な状態ではない場合、バッテリーが安全に機能しなくなる可能性があります。重傷を負う可能性があります。
  - ▶ 損傷がなく、正常に機能するバッテリーを使用して作業してください。
  - ▶ 損傷または故障しているバッテリーは充電しないでください。

- ▶ バッテリーが汚れている場合：バッテリーを清掃してください。
- ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、 18.7。
- ▶ バッテリーを改造しないでください。
- ▶ バッテリーの開口部に物を差し込まないでください。
- ▶ バッテリーの電気接点を金属製品と接続すること、ならびに短絡することは控えてください。
- ▶ バッテリーを開けないでください。
- ▶ 摩耗や損傷のあるラベルは交換してください。
- 損傷したバッテリーから液体が漏れることがあります。この液体が皮膚や目に触れると、皮膚や目が炎症を起こす可能性があります。
  - ▶ 液体に触れないようにしてください。
  - ▶ 皮膚に触れてしまった場合：大量の石鹼と水で接触した皮膚部分を洗い流してください。
  - ▶ 目に触れてしまった場合：大量の水で15分以上洗眼し、医師の診察を受けてください。
- 損傷や欠陥のあるバッテリーは、異臭を放ったり、煙が出たり、燃えたりすることがあります。人員が重傷または致命傷を負い、物的損害に至る可能性があります。
  - ▶ バッテリーから異臭がする、または煙が出ている場合：バッテリーの使用を中断し、可燃物から遠ざけてください。
  - ▶ バッテリーが燃えている場合：消火器または水を使用して、バッテリーの消火を試みてください。

#### 4.6.4 充電器

充電器は、以下の条件が満たされている場合、安全な状態です：

- 充電器が損傷していない。
- 充電器が清潔かつ乾燥した状態にある。

### ▲ 警告

- 部品が安全要件を満たしていない場合は、正常に作動しなくなるか、安全装置が作動しなくなるおそれがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 損傷した充電器は使用しないでください。
  - ▶ 充電器が汚れたり濡れたりした場合：充電器を掃除し、乾かしてください。
  - ▶ 絶対に充電器に改造を試みないでください。
  - ▶ 絶対に充電器の開口部に物を差し込まないでください。
  - ▶ 絶対に充電器の接点間を金属の物体で短絡しないでください。
  - ▶ 充電器を分解しないでください。

## 4.7 操作

### ▲ 警告

- 特定の条件下では、ユーザーは作業に集中できなくなることがあります。それにより転倒事故や落下事故が生じたり、重傷を負ったりするおそれがあります。
  - ▶ 冷静かつ慎重に作業を行ってください。
  - ▶ 明るさと視界が不十分な場合：ヘッドライトを使用しないでください。
  - ▶ ヘッジトリマーは一人で操作してください。
  - ▶ 障害物に注意してください。
  - ▶ 機械の操作中は地面に立ち、バランスを保ちます。高所での作業が必要な場合：リフトバケットまたは安全な台を使用してください。
  - ▶ 疲れを感じたら：休息をとってください。
- 肩よりも高い位置にあるものを切断すると、短時間で疲労することがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 肩よりも高い位置での切断作業は、短時間に留めてください。
  - ▶ 定期的に休憩をとります。
- 作動中のカッティングブレードは、硬い障害物に接触すると急停止することがあります。その結果生じる反動でユーザーがヘッドライトの制御を失い、重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ ヘッジトリマーを両手で確実に保持してください。
  - ▶ 作業を開始する前に生垣を点検し、硬い障害物を取り除いてください。
- 作動するカッティングブレードでケガをすることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。



- ▶ 作動中のカッティングブレードに触れないでください。
- ▶ カッティングブレードに障害物が挟まった場合：ヘッドライトのスイッチをオフにして、バッテリーを外します。挟まった障害物を取り除きます。

- 操作中にヘッドライトの動作が変化するか、異常を感じたときは、機械がもはや安全な状態にない可能性があります。それにより重傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ 作業を中止し、バッテリーを取り外し、STIHL サービス店にサポートを依頼してください。
- 作動中、ヘッドライトは振動することがあります。
  - ▶ 手袋を着用してください。
  - ▶ 定期的に休憩をとります。

- ▶ 血行不良の兆候が見られたときは：医師の診断を受けてください。
- トリガー(スイッチ)を放しても、カッティングブレードは約 1 秒間は作動し続けます。作動するカッティングブレードでケガをすることがあります。それにより重傷を負うおそれがあります。
  - ▶ コントロールハンドルとループハンドルでヘッドライトを確実に保持し、カッティングブレードが完全に停止するまで待ちます。

### ▲ 危険

- 通電中の電線の近くで作業を行うと、カッティングブレードを誤ってケーブルに接触させ、損傷させてしまうことがあります。その結果、重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 通電中の電線の付近では切断作業を行わないでください。

## 4.8 充電

### ▲ 警告

- 損傷または不具合のある充電器は、充電中に異臭がしたり、煙が発生したりする場合があります。その結果、負傷したり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ プラグを壁コンセントから抜いてください。
- 充電器は、放熱が不十分な場合、過熱して火災の原因となるおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負ったり、器物が損壊したりすることがあります。
  - ▶ 充電器をカバーなどで覆わないでください。

## 4.9 電源への接続

以下が生じていると、通電部品に接触するおそれがあります。

- 電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している。
- 電源ケーブルまたは延長ケーブルの電源プラグが損傷している。
- 電源コンセントが正しく設置されていない。


### ▲ 危険

- 通電部品に接触すると、感電するおそれがあります。それにより重傷または致命傷を負うおそれがあります。
  - ▶ 電源ケーブル、延長ケーブル、各プラグが損傷していないことを確認してください。



- 電源ケーブルまたは延長ケーブルが損傷している場合：
  - ▶ 損傷している部分に触らないでください。
  - ▶ 電源から電源プラグを抜きます。



- ▶ 手が乾いていることを確認してから電源ケーブル、延長ケーブル、または電源プラグに触れてください。
- ▶ 電源ケーブルや延長ケーブルの電源プラグは、適切に設置され、ヒューズの定格が適切な感電防止コンセントに接続してください。
- ▶ 漏電遮断器 (30 mA、30 ms) と共に充電器を設置してください。
- 損傷するか、不適切な延長ケーブルは、感電の原因になることがあります。重傷や致命傷を負う危険があります。
  - ▶ ケーブルの断面積が適正な延長ケーブルを使用してください、 18.5。

## ▲ 警告

- 充電中の不適切な線間電圧や周波数によって充電器に過電圧が生じるおそれがあります。充電器が損傷するおそれがあります。
  - ▶ 主電源の電圧と周波数が、充電器の銘板に記載されているデータと一致しているか確認してください。
- 充電器をテーブルタップに接続すると、充電中に電気部品に過負荷が加わるおそれがあります。部品が過熱し、火災が発生するおそれがあります。重傷や致命傷を負ったり、器物が損壊したりするおそれがあります。
  - ▶ テーブルタップに接続した充電器：全電気機器の銘板に記載されている情報（消費電力）がテーブルタップの仕様を超えていないか確認してください。
- 電源ケーブルや延長ケーブルを不適切に配置すると、損傷したり、人がつまずいたりするおそれがあります。負傷事故が生じたり、電源ケーブルや延長ケーブルが損傷したりするおそれがあります。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルはつまずかない位置に配置し、ケーブルが敷設されていることを表示してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、張力が加わったり、絡まったりしないように配置してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、損傷したり、折れ曲がったり、つぶれたり、擦り切れたりしないように配置してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは熱、オイル、化学薬品から保護してください。
  - ▶ 電源ケーブルと延長ケーブルは、乾いた面に敷設してください。
- 延長ケーブルは使用中に熱を持ちます。熱を逃がすことができないと、火災が生じるおそれがあります。
  - ▶ ケーブルリールを使用する場合、ケーブルをリールから完全に引き出して使用してください。

- 配線や配管が壁の内部に敷設されている場合に充電器を壁に取り付けると、配線や配管が損傷することがあります。配線と接触すると、感電するおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 充電器を取り付ける壁部分に配線や配管が通っていないことを確認してください。
- 本取扱説明書に従って充電器を壁に取り付けると、充電器やバッテリーが落下したり、充電器が過熱したりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 充電器は、本取扱説明書に従って壁に取り付けてください。
- バッテリーを挿入したまま充電器を壁に取り付けると、バッテリーが充電器から落下することがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 充電器を壁に取り付けてからバッテリーを挿入してください。

## 4.10 運搬

### 4.10.1 ヘッジトリマー

## ▲ 警告

- 運搬中にヘッジトリマーが倒れたり動いたりする可能性があります。人員が怪我を負い、物的損害に至る可能性があります。
  - ▶ バッテリーを取り外してください。



- ▶ ブレード鞘をカッティングブレードの上にスライドさせて、カッティングブレードが完全に覆われるようにしてください。
- ▶ ヘッジトリマーを荷締めベルト、バンドやネットで固定して、倒れたり動いたりすることがないようにしてください。

### 4.10.2 バッテリー

## ▲ 警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらされると、バッテリーは破損し、物的損害が生じるおそれがあります。
  - ▶ 破損したバッテリーは絶対に輸送しないでください。
- バッテリーは輸送中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。それにより重傷を負ったり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ バッテリーは、内部で固定が可能なパッケージを使用して輸送してください。

- ▶ パッケージが動かないように固定してください。

#### 4.10.3 充電器

### ▲ 警告

- 充電器は運搬中に倒れたり、ずれたりするおそれがあります。その結果、負傷したり、物的損害につながったりするおそれがあります。
  - ▶ 電源プラグを壁コンセントから外します。
  - ▶ バッテリーを取り外します。
  - ▶ 転倒したり、ずれたりしないよう、固定ストラップ、ベルトまたはネットで充電器を固定します。
- 電源ケーブルを持って充電器を持ち運ばないでください。電源ケーブルと充電器が損傷するおそれがあります。
  - ▶ 電源ケーブルを巻き上げ、充電器に固定します。

#### 4.11 保管

##### 4.11.1 ヘッジトリマー

### ▲ 警告

- 子供はヘッジトリマーの危険性を認識することも判断することもできません。子供が重傷を負う可能性があります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- ▶ ブレード鞘をカッティングブレードの上にスライドさせて、カッティングブレードが完全に覆われるようにしてください。
- ▶ ヘッジトリマーは子供の手の届かないところに保管してください。
- ヘッジトリマーの電気接点と金属部品は、水分が付着すると腐食する可能性があります。ヘッジトリマーが損傷する可能性があります。



- ▶ バッテリーを取り外してください。

- ▶ ヘッジトリマーは清潔かつ乾燥した状態で保管してください。

##### 4.11.2 バッテリー

### ▲ 警告

- 子供は、バッテリーの危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負う可能性があります。
  - ▶ バッテリーは子供の手の届かないところに保管してください。
- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲

条件にさらされると、バッテリーが修理不能な損傷を受けるおそれがあります。

- ▶ バッテリーは清潔な乾燥した状態で保管してください。
- ▶ バッテリーは密閉空間に保管してください。
- ▶ バッテリーはヘッジトリマーから分離して保管してください。
- ▶ バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを40%~60%（緑色で点灯しているLEDが2つある状態）の充電レベルで保管してください。
- ▶ バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管しないでください、☑ 18.6。

#### 4.11.3 充電器

### ▲ 警告

- 子供は、充電器の危険の認識や評価ができません。子供は重傷を負うか、死亡するおそれがあります。
  - ▶ 電源プラグを壁コンセントから抜き取ります。
  - ▶ 充電器は子供の手の届かないところに保管してください。
- 充電器は、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。特定の周囲条件にさらすと、充電器が損傷するおそれがあります。
  - ▶ 電源プラグを壁コンセントから抜き取ります。
  - ▶ 充電器が高温になっている場合は、充電器が冷めるまで放置してください。
  - ▶ 充電器は、清潔な乾燥した場所に保管してください。
  - ▶ 充電器は、閉鎖空間で保管してください。
  - ▶ 充電器は、規定の温度範囲を超える環境下で保管しないでください、☑ 18.6。
- 充電器を運搬したり、吊り下げたりするために電源ケーブルを使用しないでください。電源ケーブルと充電器が損傷するおそれがあります。
  - ▶ 充電器は、ハウジング(本体)を確実につかんで保持してください。持ち上げやすいよう、充電器の背部には埋め込み式取っ手が設けられています。
  - ▶ 充電器は壁面マウントに掛けてください。

#### 4.12 清掃、整備および修理

### ▲ 警告

- 清掃、整備または修理中にバッテリーを取り付けると、ヘッジトリマーのスイッチが意図せずオンになる可能性があります。人員が重傷を負い、物的損害に至る可能性があります。



▶ バッテリーを取り外してください。

- 刺激性の洗剤、噴射水や先の尖った物品を使用して清掃すると、ヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーまたは充電器が損傷する可能性があります。ヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーまたは充電器を適切に清掃しないと、部品が正しく機能しなくなり、安全装置が無効になる可能性があります。人員が重傷を負う可能性があります。
  - ▶ ヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーおよび充電器は、この取扱説明書の記載通りに清掃してください。
- ヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリーまたは充電器を適切に整備または修理しないと、部品が正しく機能しなくなり、安全装置が無効になる可能性があります。人員が重傷または致命傷を負う可能性があります。
  - ▶ ヘッジトリマー、バッテリーおよび充電器の整備または修理は、ご自身では行わないでください。
  - ▶ ヘッジトリマー、バッテリーまたは充電器の整備または修理が必要になった場合：STIHL サービス店までご来店ください。
  - ▶ カッティングブレードは、この取扱説明書の記載通りに整備してください。
- カッティングブレードの清掃または整備中に、使用者が鋭利な刃に触れて自分の手指を切ってしまう可能性があります。使用者が怪我を負う可能性があります。
  - ▶ 耐久性の高い素材製の作業用手袋を着用してください。

## 5 ヘッジトリマーの使用準備

### 5.1 ヘッジトリマーの使用準備

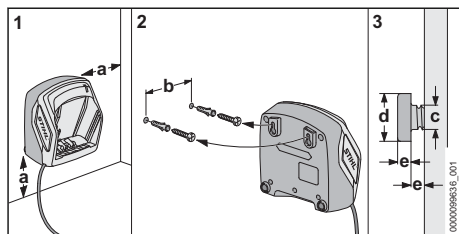
毎回作業を開始する前に、以下の手順を踏む必要があります：

- ▶ 以下の部品が安全な状態にあることを確認してください：
  - ヘッジトリマー、 4.6.1。
  - カッティングブレード、 4.6.2。
  - バッテリー、 4.6.3。
  - 充電器、 4.6.4。
- ▶ バッテリーを点検してください、 9.2。
- ▶ バッテリーをフル充電してください、 6.2。
- ▶ ヘッジトリマーを清掃してください、 14.1。
- ▶ 操作部をテストしてください、 9.1。
- ▶ この手順を踏むことができない場合：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。

## 6 バッテリーの充電、LED

### 6.1 充電器を壁に取り付ける

充電器は壁に取り付けることができます。



▶ 充電器は以下の条件が満たされるように壁に取り付けてください：

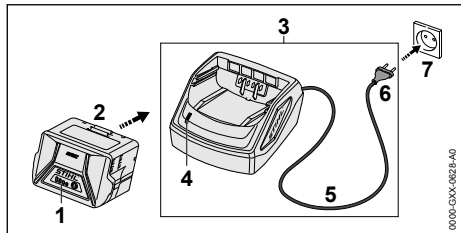
- 適切な固定具を使用すること。
  - 充電器が水平になっていること。
- 以下の寸法が守られていること：
- a = 少なくとも 100 mm
  - b (AL 101 の場合) = 75 mm
  - b (AL 301 の場合) = 100 mm
  - b (AL 500 の場合) = 120 mm
  - c = 4.5 mm
  - d = 9 mm
  - e = 2.5 mm

### 6.2 バッテリーの充電

充電時間は、バッテリーの温度や周囲温度などの様々な要因によって異なります。性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください、 18.7。実際の充電時間は、記載されている充電時間とは異なる場合があります。充電時間は [www.stihl.com/charging-times](http://www.stihl.com/charging-times) に記載されています。

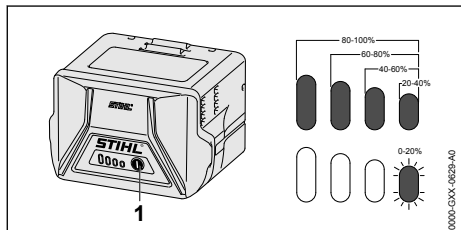
電源プラグをコンセントに差し込み、バッテリーを充電器にセットすると、自動的に充電が開始されます。バッテリーがフル充電されると、充電器の電源は自動的にオフになります。

充電中は、バッテリーと充電器が熱くなります。



- ▶ 電源プラグ (6) を簡単にアクセス可能なコンセント (7) に差し込んでください。充電器 (3) がセルフテストを実行します。LED (4) が約 1 秒緑色で、約 1 秒赤色で点灯します。
- ▶ 接続ケーブル (5) を敷設します。
- ▶ バッテリー (2) を充電器 (3) のガイドにセットし、奥まで押し込みます。LED (4) が緑色に点灯します。LED (1) が緑色に点灯し、バッテリー (2) が充電されます。
- ▶ LED (4) と LED (1) が点灯しなくなった場合：バッテリー (2) はフル充電されており、充電器 (3) から取り外すことができます。
- ▶ 充電器 (3) を使用しない場合：電源プラグ (6) をコンセント (7) から引き抜いてください。

### 6.3 充電状態



- ▶ ボタン (1) を押します。LED (5) が約 5 秒間緑色で点灯し、充電状態が表示されます。
- ▶ 右側の LED が緑色で点滅した場合：バッテリーを充電します。

### 6.4 バッテリーの LED

LED は、充電状態または故障を表示します。LED は、緑色または赤色で点灯/点滅します。

LED が緑色で点灯または点滅しているときは、充電状態が表示されています。

▶ LED が赤色で点灯または点滅：トラブルシューティング 17。

ヘッジトリマーまたはバッテリーが故障しています。

### 6.5 充電器の LED

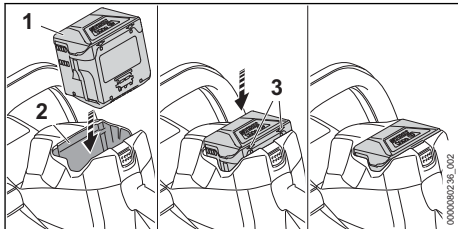
LED は充電器の作動状態を表示します。

LED が緑色で点灯しているときは、バッテリーは充電中です。

▶ LED が赤色で点滅：故障を修理してください。充電器が故障しています。

## 7 バッテリーの取り外しと取り付け

### 7.1 バッテリーの取り付け



▶ カチッという音が聞こえるまで、バッテリー (1) をバッテリーコンパートメント (2) に押し込んでください。

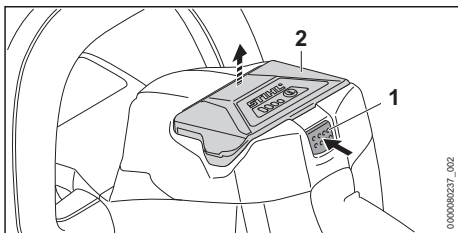
バッテリー (1) の矢印 (3) はまだ見える状態にあり、バッテリー (1) はバッテリーコンパートメント (2) に固定された状態になります。ヘッジトリマーとバッテリー (1) は電氣的に接触していません。

▶ バッテリー (1) をストップ位置までバッテリーコンパートメント (2) に押し込んでください。

もう一度カチッという音がしてバッテリー (1) が噛み合い、ヘッジトリマーの筐体と面一になります。

### 7.2 バッテリーの取り外し

▶ ヘッジトリマーを平らな面の上に置いてください。



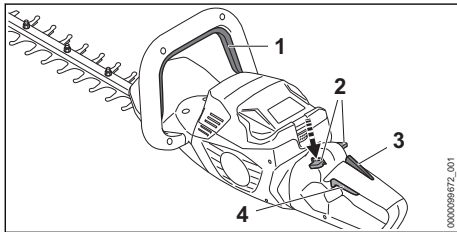
▶ ロッキングレバー (1) を押してください。バッテリー (2) のロックが解除され、取り外せるようになります。

## 8 ヘッジトリマーのオン/オフ切り替え

### 8.1 ヘッジトリマーのスイッチオン

#### 警告

- コントロールバーとトリガーを押すと、押す順序に関係なくヘッジトリマーが加速して、カッティングブレードが動きます。まずトリガーを押してからコントロールバーを押すと、使用者はヘッジトリマーのコントロールを失う可能性があります。使用者が重傷を負う可能性があります。
  - ▶ まずコントロールバーを押してからトリガーを押してください。



- ▶ コントロールバー (1) を押して、押したままにしてください。
- ▶ ロッキングレバー (2) を親指で下に押して、そのままにしてください。
- ▶ トリガー (4) を人差し指で押して、押したままにしてください。  
ヘッジトリマーが加速して、カッティングブレードが動きます。  
ロッキングレバー (2) を離して構いません。

エルゴレバー (3) が押されていれば、ロッキングレバー (2) はロック解除状態であり続けます。そのため、ロッキングレバーを再度下に押さなくても、トリガー (4) を離して再び押すことができます。

トリガー (4) とエルゴレバー (3) を離すと、トリガー (4) はロックされます。トリガー (4) のロックを解除するには、ロッキングレバー (2) を再度下に押して、そのままにする必要があります。

### 8.2 ヘッジトリマーのスイッチオフ

- ▶ コントロールバーとトリガーを離してください。
- ▶ 約 1 秒後にカッティングブレードが動かなくなるまでお待ちください。
- ▶ 約 1 秒経過してもカッティングブレードが動き続けている場合：バッテリーを取り外して、STIHL サービス店までご来店ください。  
ヘッジトリマーが故障しています。

## 9 ヘッジトリマーとバッテリーのテスト

### 9.1 操作部のテスト

- ロッキングレバー、エルゴレバーおよびトリガー
  - ▶ バッテリーを取り外してください。
  - ▶ ロッキングレバーを押さずにトリガーを押せるかどうかを試してください。
  - ▶ トリガーが押せてしまう場合：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。  
ロッキングレバーが故障しています。
  - ▶ ロッキングレバーを親指で下に押して、そのままにしてください。
  - ▶ エルゴレバーを押して、押したままにしてください。
  - ▶ トリガーを押してください。  
ロッキングレバーを離して構いません。
  - ▶ トリガーとエルゴレバーを離してください。
  - ▶ ロッキングレバー、トリガーまたはエルゴレバーが動きにくくなっているか、元の位置に戻らない場合：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。  
ロッキングレバー、トリガーまたはエルゴレバーが故障しています。

#### コントロールバー

- ▶ バッテリーを取り外してください。
- ▶ コントロールバーを押して、再び離してください。
- ▶ コントロールバーが動きにくくなっているか、元の位置に戻らない場合：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。  
コントロールバーが故障しています。

#### ヘッジトリマーのスイッチオン

- ▶ バッテリーを取り付けてください。
- ▶ コントロールバーを押して、再び離してください。
- ▶ カッティングブレードが動いたか、動く場合：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。  
トリガーが故障しています。
- ▶ ロッキングレバーを押して、押したままにしてください。
- ▶ トリガーを押して、押したままにしてください。
- ▶ カッティングブレードが動く場合：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。  
コントロールバーが故障しています。
- ▶ コントロールバーを押して、押したままにしてください。  
カッティングブレードが動きます。



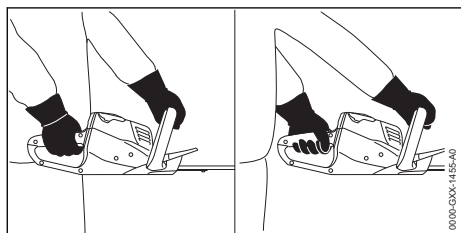
- ▶ 3つのLEDが赤色で点滅する場合：バッテリーを取り外して、STIHL サービス店までご来店ください。  
ヘッジトリマー内部に障害があります。
- ▶ コントロールバーを離してください。  
約1秒後にカッティングブレードが動かなくなります。
- ▶ 約1秒経過してもカッティングブレードが動き続けている場合：バッテリーを取り外して、STIHL サービス店までご来店ください。  
ヘッジトリマーが故障しています。

## 9.2 バッテリーのテスト

- ▶ バッテリーのボタンを押します。  
LEDが点灯または点滅します。
- ▶ LEDが点灯または点滅しない場合：バッテリーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。  
バッテリーが故障しています。

# 10 ヘッジトリマーの操作

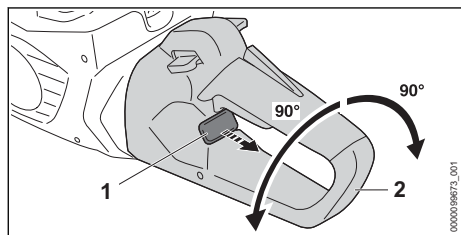
## 10.1 ヘッジトリマーの保持と操作



- ▶ 片方の手でコントロールハンドルを握ります - コントロールハンドルに親指をかけてください。
- ▶ もう一方の手でループハンドルを握ります - ループハンドルに親指をかけてください。

## 10.2 コントロールハンドルの回転

コントロールハンドルは、用途に応じて3つの位置に回転させることができます。

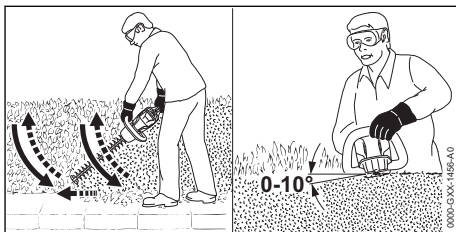


- ▶ ロックスライド(1)を引き出し、保持します。
- ▶ コントロールハンドル(2)を時計回りまたは反時計回りに回します。
- ▶ ロックスライド(1)を放します。

- ▶ コントロールハンドル(2)が噛み合うまでコントロールハンドル(2)を時計回りまたは反時計回りに回します。

## 10.3 切断作業

- ▶ 太い枝を剪定ばさみまたはチェーンソーで切断します。



- ▶ 生垣の片側に沿ってヘッジトリマーを下から上へ弧を描くように動かし、生垣を切断します。
- ▶ 生垣を切断せずにヘッジトリマーを下げます。
- ▶ 制御しながらゆっくりと前進します。
- ▶ 再度、ヘッジトリマーを下から上へ弧を描くように動かし、生垣を切断します。
- ▶ 生垣の反対側を同様の方法で切断します。
- ▶ ヘッジトリマーは、カッティングブレードが生垣の上面に対して0°~10°の角度になるよう保持します。
- ▶ ヘッジトリマーを水平に弧を描くように動かし、生垣を切断します。
- ▶ 切断性能が低下した場合はカッティングブレードを目立てしてください。

性能を最適に保つには、推奨温度範囲を守ってください、 18.7。

# 11 作業後

## 11.1 作業後

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ヘッジトリマーが濡れている場合：ヘッジトリマーを乾かしてください。
- ▶ バッテリーが濡れているか湿っている場合：バッテリーを乾かしてください、 18.7。
- ▶ ヘッジトリマーを清掃してください。
- ▶ カッティングブレードを清掃してください。
- ▶ ブレード鞘をカッティングブレードの上にスライドさせて、カッティングブレードが完全に覆われるようにしてください。
- ▶ バッテリーを清掃してください。

# 12 運搬

## 12.1 ヘッジトリマーの運搬

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ ブレード鞘をカッティングブレードの上にスライドさせて、カッティングブレードが完全に覆われるようにしてください。

### ヘッジトリマーの持ち運び

- ▶ ヘッジトリマーのループハンドルを片手で持って、カッティングブレードが後ろを向くようにしてください。

### ヘッジトリマーの車両での運搬

- ▶ ヘッジトリマーを固定して、ヘッジトリマーが倒れたり動いたりすることがないようにしてください。

## 12.2 バッテリーの運搬

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ バッテリーが安全な状態にあることを確認してください。
- ▶ バッテリーを包装して、梱包材の中で動かないようにしてください。
- ▶ 梱包材を固定して、動かないようにしてください。

バッテリーには危険物の運搬に対する要件が適用されます。バッテリーは UN 3480( リチウムイオンバッテリー ) として分類されており、UN ハンドブック「検査および基準」第 III 部、38.3 節に準拠した検査を受けています。

運搬規則は [www.stihl.com/safety-data-sheets](http://www.stihl.com/safety-data-sheets) に記載されています。

## 12.3 充電器の運搬

- ▶ 電源プラグを壁コンセントから外します。
- ▶ バッテリーを取り外します。
- ▶ 電源ケーブルを巻き上げ、充電器に固定します。
- ▶ 充電器の車両輸送：転倒したり、ずれたりしないよう、固定ストラップ、ベルトまたはネットに充電器を固定します。


# 13 保管

## 13.1 ヘッジトリマーの保管

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ブレード鞘をカッティングブレードの上にスライドさせて、カッティングブレードが完全に覆われるようにしてください。
- ▶ ヘッジトリマーは以下の条件が満たされるように保管してください：
  - ヘッジトリマーが子供の手の届かないところにあること。
  - ヘッジトリマーが清潔かつ乾燥した状態にあること。

## 13.2 バッテリーの保管

STIHL では、バッテリーを 40 % ~ 60 % ( 緑色で点灯している LED が 2 つある状態 ) の充電レベルで保管することをお勧めしています。

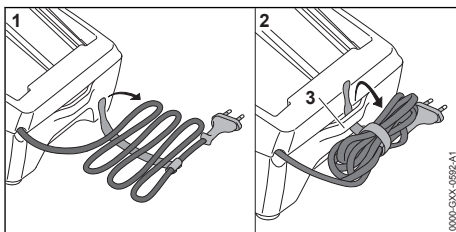
- ▶ バッテリーは以下の条件が満たされるように保管してください：
  - バッテリーが子供の手の届かないところにあること。
  - バッテリーが清潔かつ乾燥した状態にあること。
  - バッテリーが密閉空間にあること。
  - バッテリーがヘッジトリマーから分離されていること。
  - バッテリーを充電器に入れて保管する場合：電源プラグを引き抜いて、バッテリーを 40 % ~ 60 % ( 緑色で点灯している LED が 2 つある状態 ) の充電レベルで保管してください。
  - バッテリーは、規定の温度範囲を超える環境下で保管していない、 18.6。

### 注記

- バッテリーをこの取扱説明書の記載通りに保管しないと、バッテリーが過放電して損傷し、修復不可能になる可能性があります。
  - ▶ 放電したバッテリーは、保管する前に充電してください。STIHL では、バッテリーを 40 % ~ 60 % ( 緑色で点灯している LED が 2 つある状態 ) の充電レベルで保管することをお勧めしています。
  - ▶ バッテリーはヘッジトリマーから分離して保管してください。

## 13.3 充電器の保管

- ▶ 電源プラグをコンセントから引き抜いてください。



- ▶ 接続ケーブルを巻いて、充電器に固定してください。

- ▶ 充電器は以下の条件が満たされるように保管してください：
  - 充電器が子供の手の届かないところにあること。
  - 充電器が清潔かつ乾燥した状態にあること。
  - 充電器が密閉空間にあること。
  - 充電器が接続ケーブルまたは接続ケーブル用ホルダー（3）のところで掛けられていないこと。
  - 充電器を規定の温度範囲外で保管しないこと、**■** 18.6。

## 14 清掃

### 14.1 ヘッジトリマーの清掃

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ ヘッジトリマーを湿らせた布または STIHL 樹脂溶剤で清掃してください。
- ▶ 換気用の隙間をハケで清掃してください。
- ▶ バッテリーコンパートメントから異物を取り除いて、バッテリーコンパートメントを湿らせた布で清掃してください。
- ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点をハケまたは柔らかいブラシで清掃してください。

### 14.2 カuttingブレードの清掃

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。
- ▶ Cuttingブレードの両面に STIHL 樹脂溶剤を吹き付けてください。
- ▶ バッテリーを取り付けてください。
- ▶ ヘッジトリマーのスイッチを5秒間オンにしてください。  
Cuttingブレードが動きます。STIHL 樹脂溶剤が均等に広がります。

### 14.3 バッテリーの清掃

- ▶ バッテリーを、湿らせた布で拭きます。

### 14.4 充電器の清掃

- ▶ 電源から電源プラグを抜きます。
- ▶ 充電器を湿らせた布で拭き、清掃します。
- ▶ 通気口を塗装用のはけで掃除します。
- ▶ 充電器の電気接点を塗装用のはけまたは柔らかいブラシで掃除します。

## 15 整備

### 15.1 整備間隔

整備間隔は、環境と作業条件によって異なります。STIHL 社では次の間隔による整備をお勧めしています：

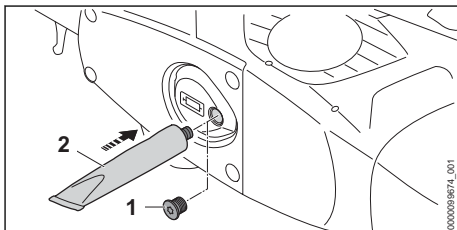
#### 50 運転時間毎

- ▶ ギアボックスに注油します。

#### 12 ヶ月毎

- ▶ STIHL サービス店にヘッジトリマーの点検をご依頼ください。

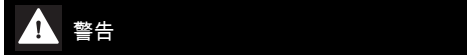
## 15.2 ギアボックスの潤滑



- ▶ スクリュープラグ(1)を回して外します。
- ▶ スクリュープラグ(1)にグリースが見えない場合：
  - ▶ 「STIHL ギア用グリース」のチューブ(2)をねじ込みます。
  - ▶ 5gのSTIHL ギア用グリースをギアハウジングに押し込みます。
  - ▶ 「STIHL ギア用グリース」のチューブ(2)を回して外します。
  - ▶ スクリュープラグ(1)をねじ込み、しっかりと締め付けます。
  - ▶ ヘッジトリマーのスイッチを1分間オンにします。  
STIHL ギア用グリースが均等に広がります。

## 15.3 Cuttingブレードの目立て

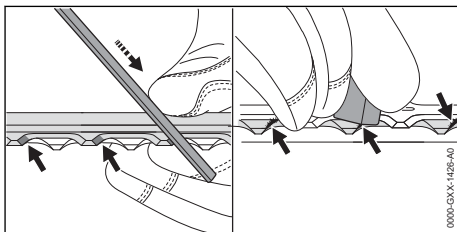
STIHL では、STIHL サービス店にCuttingブレードの目立てを依頼することをお勧めしています。




#### 警告

- Cuttingブレードの刃は鋭利です。使用者が自分の手指を切ってしまう可能性があります。
  - ▶ 耐久性の高い素材製の作業用手袋を着用してください。

- ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオフにして、バッテリーを取り外してください。



- ▶ 上側のカッティングブレードの刃一つ一つを、STIHL 平ヤスリを前に動かしながら目立てしてください。その際は、切れ刃角を維持してください、 18.2。
- ▶ ヘッジトリマーの向きを変えてください。
- ▶ 残りの刃を目立てしてください。
- ▶ 刃一つ一つのバリを下から取り除いてください。
- ▶ ヘッジトリマーの向きを変えてください。
- ▶ 残りの刃のバリを取り除いてください。
- ▶ やすりがけの間に発生した粉塵を、湿らせた布で取り除いてください。
- ▶ カッティングブレードの両面に STIHL 樹脂溶剤を吹き付けてください。
- ▶ ヘッジトリマーのスイッチを5秒間オンにしてください。カッティングブレードが動きます。STIHL 樹脂溶剤が均等に広がります。
- ▶ 不明な点がある場合：STIHL サービス店までご来店ください。

## 16 修理


### 16.1 ヘッジトリマー、バッテリー、および充電器の修理

- ユーザーがヘッジトリマー、カッティングブレード、バッテリー、充電器を修理することはできません。
- ▶ ヘッジトリマーまたはカッティングブレードが損傷した場合：ヘッジトリマーを使用しないでください。STIHL サービス店に連絡してください。
  - ▶ バッテリーに不具合が生じるか、損傷した場合：バッテリーを交換してください。
  - ▶ 充電器が故障するか、損傷した場合：充電器を交換してください。
  - ▶ 電源ケーブルが故障するか、損傷した場合：充電器を使用しないでください。STIHL サービス店で電源ケーブルを交換してもらってください。

## 17 トラブルシューティング

### 17.1 ヘッジトリマーまたはバッテリーのトラブルシューティング

障害	バッテリーのLED	原因	対策
スイッチをオンにした際にヘッジトリマーが起動しない。	1つのLEDが緑色で点滅する。	バッテリーの充電レベルが低すぎます。	▶ バッテリーを充電してください。
	1つのLEDが赤色に点灯する。	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーを冷ますが温めてください。
	3つのLEDが赤色に点滅する。	ヘッジトリマー内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。 ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き3つのLEDが赤色で点滅する場合は：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
		カッティングブレードが動きにくくなっています。	▶ カッティングブレードの両面に STIHL 樹脂溶剤を吹き付けてください。 ▶ 引き続き3つのLEDが赤色で点滅する場合は：ヘッジトリマーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。
	3つのLEDが赤色に点灯する。	ヘッジトリマーの温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ ヘッジトリマーを冷ましてください。
4つのLEDが赤色で点滅する。	バッテリー内部に障害があります。	▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオンにしてください。 ▶ 引き続き4つのLEDが赤色で点滅する場合は：バッテリーの使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。	

障害	バッテリーのLED	原因	対策
	-	ヘッジトリマーとバッテリー間の電気接続が遮断されています。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ バッテリーコンパートメントの電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。
	-	ヘッジトリマーまたはバッテリーが濡れています。	▶ ヘッジトリマーまたはバッテリーを乾かしてください、  18.7。
ヘッジトリマーが動作中に停止する。	3つのLEDが赤色に点灯する。	ヘッジトリマーの温度が高すぎます。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ ヘッジトリマーを冷ましてください。
	-	電氣的な障害があります。	▶ バッテリーを取り外して、再度取り付けてください。 ▶ ヘッジトリマーのスイッチをオンにしてください。
ヘッジトリマーの動作時間が短すぎる。	-	バッテリーがフル充電されていません。	▶ バッテリーをフル充電してください。
	-	バッテリーの耐用年数を超過しています。	▶ バッテリーを交換してください。
バッテリーを充電器に取り付けた後に充電プロセスが開始しない。	1つのLEDが赤色に点灯する。	バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。	▶ バッテリーを充電器に取り付けたままにしてください。 許容温度範囲に達すると、充電プロセスは自動的に開始します。

## 17.2 充電器のトラブルシューティング

障害	充電器のLED	原因	対策
バッテリーが充電されない。	LEDが赤色で点滅する。	充電器とバッテリー間の電気接続が遮断されています。	▶ バッテリーを取り外してください。 ▶ 充電器の電気接点を清掃してください。 ▶ バッテリーを取り付けてください。
		充電器内部に障害があります。	▶ 充電器の使用を中止して、STIHL サービス店までご来店ください。

## 18 技術仕様

### 18.1 ヘッジトリマー

#### STIHL HSA 60.0

- 使用許可されているバッテリー：STIHL AK
- バッテリーを除いた重量：3.5 kg

耐用年数は [www.stihl.com/battery-life](http://www.stihl.com/battery-life) に記載されています。

### 18.2 カuttingブレード

- ピッチ：34 mm
- 刃渡り：600 mm
- 切れ刃角：35°

### 18.3 バッテリー STIHL AK

- バッテリー技術：リチウムイオン
- 電圧：36 V
- 容量 (Ah)：銘板参照
- エネルギー含有量 (Wh)：銘板参照
- 重量 (kg)：銘板参照

### 18.4 充電器 STIHL AL 101

- 定格電圧：銘板参照
- 周波数：銘板参照
- 定格出力：銘板参照
- 充電電流：銘板参照

充電時間は [www.stihl.com/charging-times](http://www.stihl.com/charging-times) に記載されています。

### 18.5 延長ケーブル

延長ケーブルを使用するときは、ケーブル (導体) の断面積が以下の最低要件 - 延長ケーブルの線間電圧と長さによって異なる - を満たす必要があります：

定格ラベルに記載されている定格電圧が 220V

から 240V までの場合：

- 20 m までのケーブル長：AWG 15 / 1.5 mm<sup>2</sup>
- 20 m から 50 m までのケーブル長：AWG 13 / 2.5 mm<sup>2</sup>

定格ラベルに記載されている定格電圧が 100V から 127V までの場合：

- 10 m までのケーブル長：AWG 14 / 2.0 mm<sup>2</sup>
- 10 m から 30 m までのケーブル長：AWG 12 / 3.5 mm<sup>2</sup>

## 18.6 温度制限



警告

- バッテリーは、すべての周囲条件に対して保護されているわけではありません。バッテリーが特定の環境要因にさらされると、バッテリーが発火・爆発するおそれがあります。それにより、重傷を負ったり物的損害につながったりする可能性があります。
  - ▶ バッテリーを-20℃未満または+50℃超過の環境下で充電しないでください。
  - ▶ ヘッジトリマー、バッテリーまたは充電器を-20℃未満または+50℃超過の環境下で使用しないでください。
  - ▶ ヘッジトリマー、バッテリーまたは充電器を-20℃未満または+70℃超過の環境下で保管しないでください。

## 18.7 推奨温度範囲

ヘッジトリマー、バッテリーおよび充電器の性能を最適に保つために、以下の温度範囲を守ってください：

- 充電：+5℃ ~ +40℃
- 使用：-10℃ ~ +40℃
- 保管：-20℃ ~ +50℃

バッテリーを推奨温度範囲外で充電したり、使用したり、保管したりすると、性能が低下することがあります。

バッテリーが濡れていたり、湿ったりしている場合は、+15℃ ~ +50℃、並びに湿度 70%未満で 48 時間以上乾燥させてください。湿度が高ければ乾燥時間が長くなる可能性があります。

## 18.8 騒音値および振動値

音圧レベルの特性値は 2 dB(A)です。音響パワーレベルの特性値は 2 dB(A)です。振動値の特性値は 2 m/s<sup>2</sup>です。

STIHL では、聴力保護具を着用することをお勧めしています。

- EN 62841-4-2 に準拠して測定した音圧レベル L<sub>pA</sub>：77 dB(A)。
- EN 62841-4-2 に準拠して測定した音響パワーレベル L<sub>WA</sub>：85 dB(A)。
- EN 62841-4-2 に準拠して測定した振動値 a<sub>hV</sub>
  - コントロールハンドル：1.0 m/s<sup>2</sup>。振動値の特性値は 2 m/s<sup>2</sup>です。
  - ループハンドル：1.5 m/s<sup>2</sup>。

記載されている振動値は、規格に基づいた検査方法に従って測定されたものであり、電気製品を比較する際に参考にする事ができます。実際に発生する振動値は、使用方法によっては記載値とは異なる可能性があります。記載されている振動値は、振動による負荷を差し当たって判断するために使用することができます。振動による負荷の実際の強さは見積もらなければなりません。そこでは、電気製品がオフになっている時間と、オンになってはいても負荷なしで稼働している時間も考慮に入れることができます。

振動に関する指令 2002/44/EC の遵守に関する情報は、[www.stihl.com/vib](http://www.stihl.com/vib) に記載されています。

## 18.9 REACH

REACH は EC の規定で、化学物質 (Chemical substances) の登録 (Registration)、評価 (Evaluation)、認可 (Authorisation) 規制を意味します。

REACH 規定の遵守に関する詳細については、[www.stihl.com/reach](http://www.stihl.com/reach) をご覧ください。

## 19 スペアパーツおよびアクセサリ

### 19.1 スペアパーツおよびアクセサリ

**STIHL** これらの記号は、STIHL 純正のスペアパーツと STIHL 純正のアクセサリに付けられています。

STIHL 社では、STIHL 純正の交換部品とアクセサリの使用をお勧めしています。

STIHL 社は市場に出回っている商品を継続的に調査しておりますが、他社製スペアパーツとアクセサリの信頼性、安全性、適性を判断することはできません。そのため、STIHL 社はそうした部品の使用を許可しておりません。

STIHL 純正の交換部品と STIHL 純正のアクセサリは、STIHL サービス店から入手することができます。

## 20 廃棄

### 20.1 ヘッジトリマー、バッテリーおよび充電器の廃棄

廃棄に関する情報については、現地の行政当局または STIHL サービス店にお問い合わせください。

不適切に廃棄すると、健康被害や環境被害につながる可能性があります。

- ▶ STIHL 製品は梱包材も含めて、現地の規則に従って適切な資源回収ステーションに出してください。
- ▶ 家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。

## 21 EC 適合証明書

### 21.1 ヘッジトリマー STIHL HSA 60.0

ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstraße 115  
D-71336 Waiblingen  
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が  
 – モデル：バッテリーヘッジトリマー  
 – 製造ブランド：STIHL  
 – タイプ：HSA 60.0  
 – シリアル番号：HA06

指令 2011/65/EU、2006/42/EC、2014/30/EU、2000/14/EC の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1、EN 62841-4-2。

指令 2000/14/EC、付録 V に準拠して適用された適合性評価方法。  
 – 音響パワーレベル測定値：85 dB(A)  
 – 音響パワーレベル保証値：87 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG の製品認証部に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、ヘッジトリマーに表示されています。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行  
ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs & Global Governmental Relations

## 22 UKCA 適合宣言

### 22.1 ヘッジトリマー STIHL HSA 60.0



ANDREAS STIHL AG & Co. KG  
Badstraße 115

D-71336 Waiblingen  
Germany (ドイツ)

は、単独の責任において下記の製品が  
 – モデル：バッテリーヘッジトリマー  
 – 製造ブランド：STIHL  
 – タイプ：HSA 60.0  
 – シリアル番号：HA06

英国規則 The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012, Supply of Machinery (Safety) Regulations 2008, Electromagnetic Compatibility Regulations 2016 および Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 の関連する条項に適合しており、以下の規格のそれぞれ製造時点で有効であった版に準拠して開発および製造されたことを保証いたします：EN 55014-1、EN 55014-2、EN 62841-1、EN 62841-4-2。

英国規則 Noise Emission in the Environment by Equipment for use Outdoors Regulations 2001 Schedule 8 に準拠して適用された適合性評価方法。

– 音響パワーレベル測定値：85 dB(A)  
 – 音響パワーレベル保証値：87 dB(A)

技術資料は ANDREAS STIHL AG & Co. KG に保管されています。

製造年、製造国と機械番号は、ヘッジトリマーに表示されています。

2022 年 8 月 1 日、Waiblingen にて発行  
ANDREAS STIHL AG & Co. KG

代理人 

Robert Olma, Vice President, Regulatory Affairs & Global Governmental Relations

## 23 パワーツールの安全上の一般的な警告事項

### 23.1 はじめに

この章は、手持型モーター駆動電動工具の欧州標準 IEC 62841 に規定されている、策定済みの一般的な安全上の注意事項を複製したものです。

STIHL 社にはこうした注意事項を発行する義務があります。

「電気的な安全」に記載されている、感電を防ぐための安全上の注意事項と警告は、STIHL バッテリーツールには適用されません。




**警告**

- この電動パワーツールに付属する安全上の注意事項、取扱説明書、図、技術仕様にはすべて目を通してください。安全に関する警告事項や指示に従わないと、感電、火災、重傷の原因になることがあります。後日参照するために、警告と指示が記載された書類をすべて保管してください。

警告中の「電動パワーツール」という語は、主電源により駆動される（コード接続）パワーツールまたはバッテリーにより駆動される（コードレス）パワーツールを指します。

### 23.2 作業エリアの安全

- a) 作業エリアは清潔な状態で維持し、常に十分な明るさを確保してください。雑然としているか、明るさが十分でない作業エリアは、事故を招きます。
- b) 可燃性の液体、ガス、または粉塵が存在する、爆発が起きやすい環境下では、電動パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールは火花を発生し、粉塵やガスが引火することがあります。
- c) 電動パワーツールの使用時は、子供や第三者を近付けないでください。気が散って、電動パワーツールを制御できなくなることがあります。

### 23.3 電気的な安全

- a) 電動パワーツールの電源プラグは、コンセントと適合している必要があります。電源プラグにはいかなる改造も行わないでください。接地された電動パワーツールにはアダプタープラグを使用しないでください。改造されていないプラグを適合するコンセントに使用すると、感電の危険が低減されます。
- b) パイプ、ヒーター、オープン、冷蔵庫等の接地された面に身体の一部を接触させないでください。身体が接地されると、感電が生じる危険が増します。
- c) 電動パワーツールは、雨や水分にさらさないでください。電動パワーツールに水が入ると、感電の危険が増します。
- d) 接続ケーブルを他の目的に使用しないでください。絶対に電源ケーブルを持って電動パワーツールを運搬したり、引っ張ったりしないでください。同様に、絶対に電源ケーブルを引いてプラグを外さないでください。電源ケーブルは高温、油分、鋭利な端部、可動部品に近付けないでください。電源ケーブルが損傷するか、絡まると、感電の危険が増します。

- e) 電動パワーツールを屋外で使用するときは、屋外用の延長ケーブルを使用してください。屋外用の延長ケーブルを使用すると、感電の危険が低くなります。
- f) やむを得ず電動パワーツールを湿った場所で使用しなければならない場合は、残留電流装置 (RCD) で保護された電源を使用してください。RCDを使用すると、感電の危険が低くなります。

### 23.4 作業者の安全

- a) 電動パワーツールを操作するときは、常に気を抜かず、作業に集中し、常識を働かせてください。疲れているときや、薬物、アルコール、または薬剤の影響下にあるときは、パワーツールを使用しないでください。電動パワーツールの操作中は、一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。
- b) 作業者用保護装備を使用してください。必ず目のプロテクターを着用してください。使用する電動パワーツールと各作業に適した保護装備（防塵マスク、耐滑安全靴、硬質ヘルメット、イヤープロテクター等）は、作業者が負傷する危険を低減します。
- c) 機械が偶発的に始動しないよう配慮してください。電動パワーツールのスイッチがオフになっているか確認してから主電源に接続したり、持ち上げたり、運搬したりしてください。オン/オフスイッチに指を載せるか、電動パワーツールのスイッチをオンにしたまま電動パワーツールを運搬すると、事故が起きるおそれがあります。
- d) 設定用の工具やレンチを取り外してから電動パワーツールの電源を入れてください。工具やスパナを電動パワーツールの回転部品に取り付けたままにしておくと、負傷事故が起きるおそれがあります。
- e) 不自然な姿勢は避けてください。常に適切な足場とバランスを維持してください。想定外の状況下で電動パワーツールを制御しやすくなります。
- f) 適切な衣服を着用してください。ゆったりとした衣服や装身具は身に付けないでください。髪の毛や衣服を可動部品に近付けないでください。ゆったりした衣服、装身具、長髪は、可動部品に絡まるおそれがあります。
- g) 集塵機を設置できる場合は、適切に接続し、使用してください。集塵機を使用すると、粉塵に関連する危険を低減することができます。
- h) 電動パワーツールに完全に慣れていても、油断したり、安全規則を無視したりしないでく

ださい。不注意によって一瞬で重傷を負うおそれがあります。

### 23.5 電動パワーツールの使用と保守

- a) 電動パワーツールに無理な力を加えないでください。用途に適した電動パワーツールを使用してください。適切な電動パワーツールを使用すると、設計上の速度で、より効率的かつ安全に作業が遂行されます。
- b) スイッチが故障している場合は、電動パワーツールを使用しないでください。スイッチで電源を制御できない電動パワーツールは危険であり、修理する必要があります。
- c) 電源からプラグを抜くか、本体からバッテリーパックを取り外してから、パワーツールの調整、アクセサリーの交換、またはパワーツールの保管を行ってください。こうした安全予防措置を講じると、電動パワーツールが偶発的に始動する危険が低減されます。
- d) 使用していない電動パワーツールは、子供の手の届かない場所に保管してください。操作に慣れていないか、取扱説明書や助言書をお読みいただいていない作業中には、電動パワーツールを使用させないでください。電動パワーツールは、訓練を受けていない作業者が使用すると危険です。
- e) 電動パワーツールとアクセサリーは、保守をしながら使用してください。可動部品のずれや固着、部品の損傷、電動パワーツールの機能に影響を及ぼすおそれがある他の不具合がないか点検してください。損傷している場合は、電動パワーツールを修理してから使用してください。事故の多くは、保守が不適切な電動パワーツールによって引き起こされています。
- f) カuttingアタッチメントは、常に目立てをした清潔な状態に保ってください。刃先を目立てし、慎重に保守したCuttingアタッチメントを使用すると、作動しなくなる可能性は低くなり、制御が容易になります。
- g) 電動パワーツール、アクセサリー、工具ビット等は、作業条件と実施する作業内容を考慮しながら、これらの指示に従って使用してください。電動パワーツールを本来の用途以外に使用すると、危険な状況が生じるおそれがあります。
- h) ハンドルやグリップの表面は、オイルやグリースが付着していない、清潔で乾いた状態に保ってください。ハンドルやグリップの表面が滑りやすいと、電動パワーツールを適切に操作できなくなり、想定外の状況が生じたときに制御を失います。

### 23.6 バッテリーツールの使用と保守

- a) バッテリーを充電するときは、必ずメーカーが指定した充電器を使用してください。特定の種類のバッテリーパックに適した充電器を他のバッテリーパックに使用すると、火災の危険が生じることがあります。
- b) パワーツールは、必ず専用バッテリーパックと共に使用してください。他のバッテリーパックを使用すると、ケガおよび火災の危険が生じることがあります。
- c) バッテリーパックを使用していないときは、端子どうしを接続する可能性のあるペーパークリップ、硬貨、鍵、くぎ、ねじ等の小さな金属製の物体に近付けないでください。バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因になることがあります。
- d) 不適切な方法で使用すると、バッテリー液が漏れ出すことがあります。バッテリー液には触れないでください。誤って触れた場合は、水ですすいでください。バッテリー液が目に入ったときは、さらに医師の診断を受けてください。バッテリーから漏れ出した液は、炎症や火傷の原因になることがあります。
- e) 損傷したり、改造したりしたバッテリーパックやパワーツールは使用しないでください。損傷したバッテリーや改造したバッテリーは想定外の反応を示し、火災、爆発、負傷事故を引き起こすおそれがあります。
- f) バッテリーパックやパワーツールを火気や高温にさらさないでください。火気または130 °C (265 °F)以上の温度によって爆発が生じるおそれがあります。
- g) 充電に関する指示をすべて遵守し、バッテリーパックやパワーツールは、取扱説明書に記載されている温度範囲を超える環境下では充電しないでください。不適切な方法で充電するか、規定の温度範囲外で充電すると、バッテリーが損傷し、火災が生じる危険が増すことがあります。

### 23.7 修理点検

- a) パワーツールの修理は認可を受けた修理技術者に依頼し、同一交換部品のみを使用してください。これにより、パワーツールの安全性を維持することができます。
- b) 損傷したバッテリーは、絶対に修理しないでください。バッテリーパックの修理は、必ずメーカーまたは認定を受けたサービス店に依頼してください。

## 23.8 ヘッジトリマーの安全上の警告事項

### ヘッジトリマーの一般的な安全上の警告事項

- a) ブレードには身体の一部を近付けないでください。ブレードを作動させたまま切断した物を取り除いたり、切断する物を保持したりしないでください。ヘッジトリマーのスイッチを切った後も、ブレードは作動し続けます。ヘッジトリマー使用中の一瞬の不注意で重傷を負うおそれがあります。
- b) ヘッジトリマーは、ブレードが停止した状態でハンドルを持って運搬してください。スイッチを押さないよう注意してください。ヘッジトリマーを適切な方法で運搬すると、機械が偶発的に始動してブレードで負傷する危険が低減されます。
- c) ヘッジトリマーの運搬時や保管時は、必ずブレードガード(鞘)を取り付けてください。ヘッジトリマーを適切な方法で取り扱うと、カッティングブレードによって負傷する危険が低減されます。
- d) 挟まった切りくずを取り除いたり、機械の整備を行ったりする前に、電源スイッチがすべてオフになり、バッテリーが取り外されているか、バッテリーのスイッチがオフになっているか確認してください。挟まった切りくずを取り除く際にヘッジトリマーが偶発的に作動すると、重傷を負うおそれがあります。
- e) カッティングブレードが隠れた電線に接触することがあるため、ヘッジトリマーは絶縁されているハンドルのみで保持してください。通電中のラインに接触すると、金属製の機械部品も通電した状態となり、感電するおそれがあります。
- f) 電線類は切断エリアから離れた位置に移動してください。生垣や低木内にケーブルが隠れていることがあり、ブレードで誤ってそうしたケーブルを損傷させてしまうおそれがあります。
- g) 悪天候下、特に雷雨時はヘッジトリマーを使用しないでください。それにより落雷事故が起きる危険が低減されます。

[www.stihl.com](http://www.stihl.com)



0458-019-9301-A



0458-019-9301-A